

取扱説明書

スミ取り装置 RF-55

スミ取り装置 RF-55をお買い上げいただきありがとうございます。

はじめに

- ・この取扱説明書は、スミ取り装置 RF-55 の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用下さい。
- ・お読みになった後も必ず製品に近接して保存して下さい
- ・製品を貸与又は譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡し下さい。
- ・尚、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容及ぶ写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承下さい。
- ・ご不明なことやお気付の事がございましたら、お買い上げ頂きましたお店、又はお近くの特約店・販売店・農協にご相談下さい。
- ・ご不明な点がございましたら、本機の取扱説明書及びパーツリストを参照して下さい。

1.安全に作業をするために

- ・安全に作業をしていただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」は、本機の取扱説明書を使用前に必ずお読み下さい。
- ・そこに記載されている注意事項を守らないと、傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

2.本製品の使用目的について

- ・本製品は、育苗箱に入れた床土の前後のスミを、押す装置としてご使用下さい。
使用目的以外の作業や改造などは、決してしないで下さい。
- 又、本製品はオプション用です。下記の型式以外の製品には取り付けないで下さい。

HK-205A, HK-205B, HK-207B, ※HK-307, HK-307K, HK-507, HK-507K

HS-225A, HS-225B, THK-2007B, THK-2007KB, ※THK-3017

ST-307, ST-307K, ST-507, ST-507K

注) ※印の型式はダブル回転ブラシの二段目は取り外す。

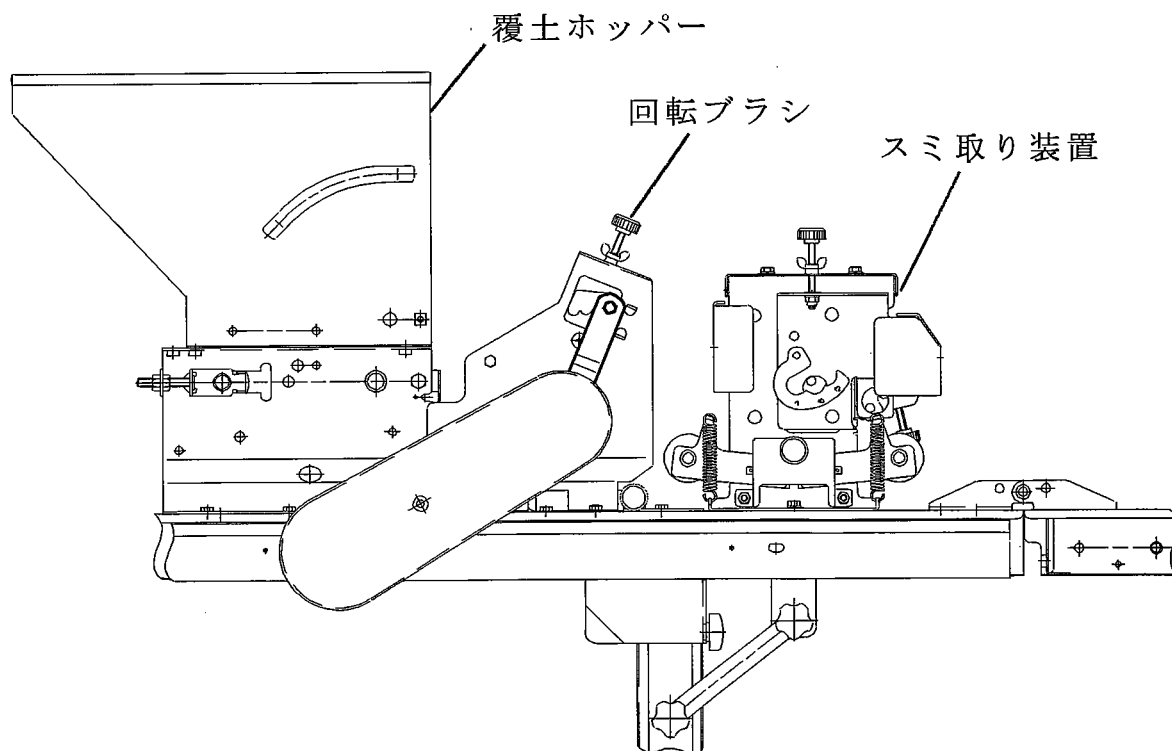
3.組付要領

(HK - 205 A, HS - 225 A)

- ① 別売の回転ブラシ仕組品を取り付けて下さい。
- ② 本製品を下図のように組付けます。

(HK - 205 B, HS - 225 B)

- ① スミ取り装置(前)をアームの所から取り外します。
- ② 本製品を下図のように組付けます。

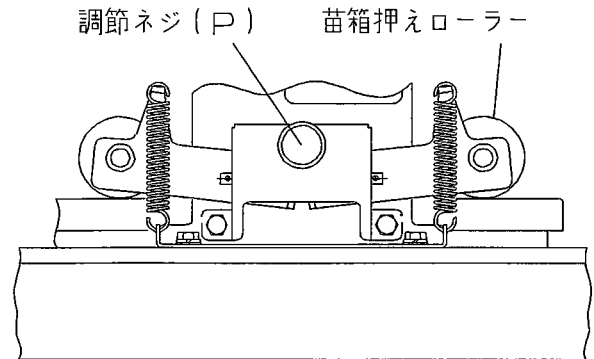


4.調節の仕方

このスミ取り装置は、育苗箱の前後の隅を取る装置です。育苗箱の種類により高さが異なりますので、ご使用する箱に合わせ次の要領で調節して下さい。
 ※出荷時は、高さ38ミリの育苗箱でカキ取り量10ミリにセットしてあります。

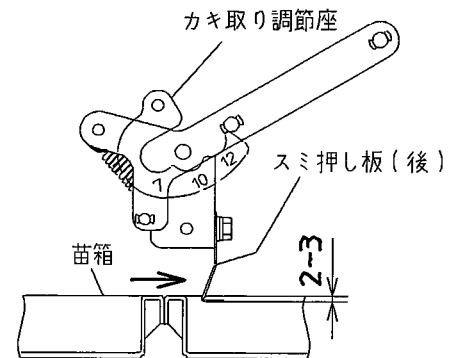
①箱押えローラーの調節

- ・育苗箱を抜いた時、押えローラーが1～2mm下がる様に、両サイドの調節ネジ(P)で調整します。
- ・育苗箱の押えが弱いと育苗箱が止まる場合があります。



②スミ押し板(後)の調節

- ・育苗箱の上面より2～3ミリ下げた所にスミ押し板(後)を、上面にある調節ネジで合わせます。
- ・カキ取り量の調節は、カキ取り調節座をスライドして行います。
(7・10・12^ミ)の3段階



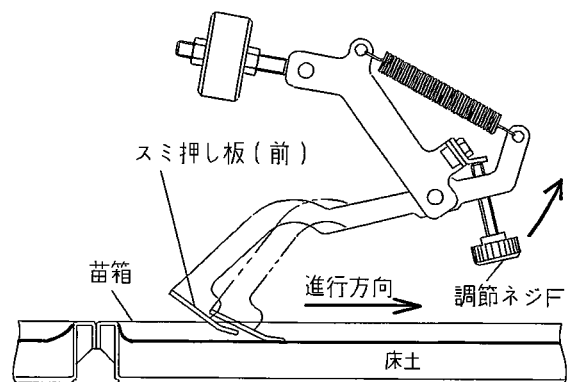
{ 右に回す — スミ押し板下がる }
 { 左に回す — スミ押し板上がる }

〈注意〉

左右の高さが同じになるようにセットして、チョウナットにてロックして下さい。

③スミ押し板(前)の調節

- ・カキ取り量の調節のみ行います。
- ・調節ネジ F をつまんで上方へ持ち上げてカキ取った土の上面にスミ押し板(後)が触るように調節ネジ F で調節します。
- ・手を離すとスミ押し板(前)が元に戻りカキ取った土の上面より3ミリ上がった所で待機します。



※スミ押し板(前)が待機の状態、床土上面に接触しないよう注意して下さい。

《スミ取り装置 側面図》

